

船舶事故等調査報告書

平成21年8月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009広第161号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年4月8日 18時20分ごろ	
発生場所	岡山県小串港沖 (概位 北緯34°36.1′ 東経134°01.5′)	
事故等調査の経過	平成21年5月27日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	貨物船 第七善丸、468トン	
船舶番号、船舶所有者等	130799、健洋海運建設株式会社	
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	推進器損傷、船底擦過傷	
事故等の経過	本船は、鉄鉱石約1,000トンを積載し、船首約3.0m、船尾約4.9mの喫水で、小串港沖を航行中、平成21年4月8日18時20分ごろ、船底が海底に接触した。	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 西、風力 2 海象：潮汐 上げ潮初期	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、航行中、潮汐表で潮高を確認するなどの水路の調査を適切に行わなかった可能性があると考えられる。 発生場所付近は、海図では水深3.5mであり、当時の潮高は約1.0mで、船首約3.0m、船尾約4.9mの喫水であった可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が小串港沖を航行中、潮汐表で潮高を確認するなどの水路の調査を適切に行わなかったため、浅所に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	